

【治山事業（県事業） 事後評価審議資料】

○事後評価実施箇所一覧表	・・・p. 1
○事後評価箇所表	・・・p. 3
○説明資料（パワーポイント）	
⑧ 復旧治山事業 「足打谷」	・・・p. 5

令和4年度 事後評価実施箇所一覧表 11月16日審議箇所

[林政部 森林保全課]

番号	担当課名	事業		完了 年度	事業 採択 年度	全体事業費 (百万円) 上段：当初 下段：最終	事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所 (市町村名)	対の方針(案)		
		補助・ 交付金	県単							今後の事後評価の 必要性	改善措置の必要性	新規事業へ適用すべき留意点
8	森林保全課	○		H18	H28	1,792 ----- 1,140	復旧治山事業	あしうらに 足打谷	揖斐川町	今の段階では 必要なし	今の段階では 必要なし	地域住民に対して事業の目的や必要性を分かり易く伝え、事業の効果について理解を得るとともに、継続的なPRを行う。

令和4年度事後評価箇所表

担当課〔 森林保全課 〕

番号	8	事業名 (路線・河川名等)	復旧治山事業 足打谷地区
事業実施箇所	揖斐郡揖斐川町瑞岩寺字足打谷地内		全体事業費 (当初 1,792) 1,140百万円
採択年度	平成18年度	完了年度	平成28年度
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね5年経過したもの		
事業目的	<p>当地区は、揖斐川町役場の西部に位置し、粕川に右岸部より合流する802haの流域で、流域下流には、人家、県道等が多数存在している場所である。</p> <p>溪流内に貯留された大量の不安定土砂を抑止し、崩壊地の復旧・拡大防止対策により森林の保全を図ることを目的として事業を実施した。</p>		
事業概要	<p>治山ダム 15基 山腹工 0.81ha</p>		
概要図			

評価結果	
① 住民参加・協働による効果	<ul style="list-style-type: none"> 被災状況等から治山事業の必要性や実施後の効果について住民説明会を行い、参加者の意見や要望を聞き取り、住民の理解の下で事業を実施した。
② 事業の効果	<p>【崩壊地の復旧・植生の回復】</p> <ul style="list-style-type: none"> 治山ダム工の実施により山脚が固定され周辺植生が回復した。 山腹工の実施により植生が回復し拡大崩壊を防止した。 <p>【土砂流出の抑止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 治山ダム工により、約8万m³の流出土砂量を抑止したと共に、1.96haの流出抑止区間が形成されたことで、流域の土砂災害防止が図られた。 <p>【費用対効果分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「林野公共事業における事業評価マニュアル」に基づき、便益として水源涵養と災害防止を算出し、投資的効果率は3.3となった。
③ 環境面への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 治山事業実施による植生回復により、自然環境が修復した。 中詰材に土砂を利用した治山ダム工とすることで、溪床内の堆積土砂を有効利用し、環境負荷の低減を図った。
④ 事業を巡る社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象にある施設が、揖斐川町地域防災計画にある避難所、防災ヘリコプター緊急離着陸場に指定され、地域の防災計画に貢献した。
⑤ 利用者・地域住民等への効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民を対象としたアンケート結果から、約9割の回答者が治山の効果を実感している。効果に期待できない回答者は約1割であり、本事業への否定的な意見は少ない。
⑥ 対応方針（案）	<p>【今後の事業評価の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業完了後から山地災害は発生しておらず、費用対効果が3.3で効果が発現していることから、今の段階では必要なしと判断する。 <p>【改善措置の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査により回答者の約9割が満足しているため、今の段階では必要なしと判断する。 <p>【新規事業へ適用すべき留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民に対して事業の目的や必要性を分かり易く伝え、事業の効果について理解を得るとともに、継続的なPRを行う。

事後評価 復旧治山事業 足打谷地区



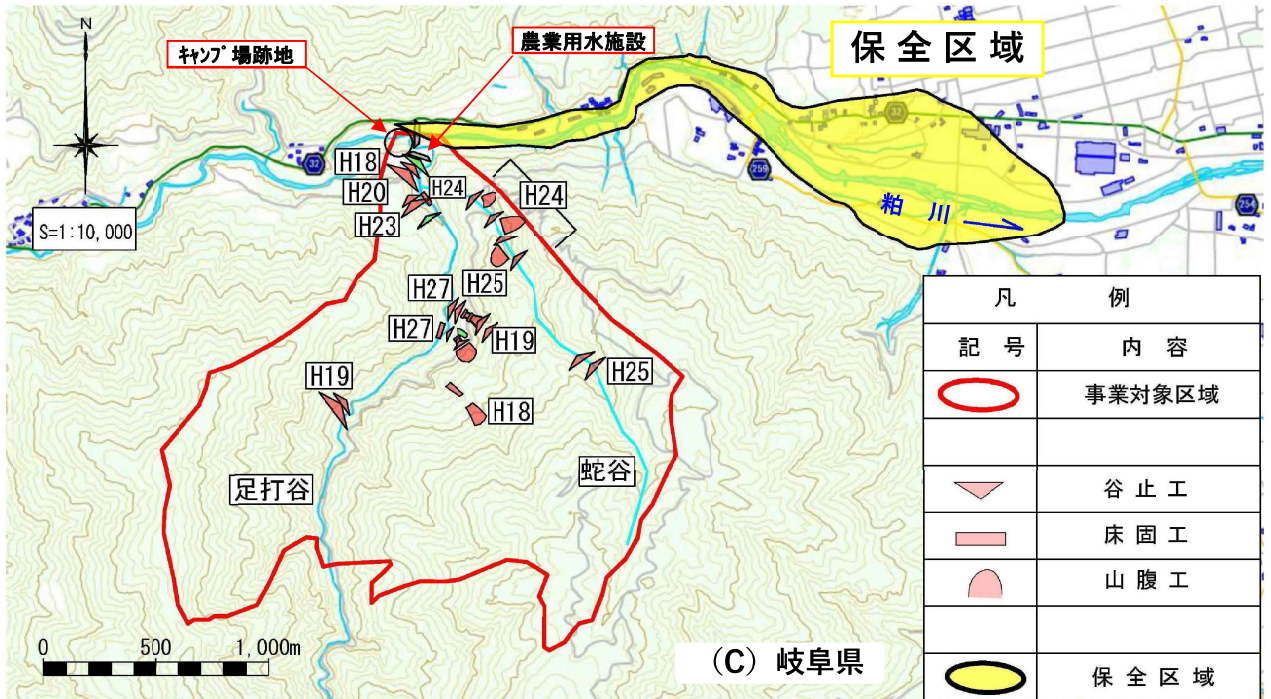
足打谷右岸支流・平成19・27年度施工溪間工 令和4年7月撮影

林政部 森林保全課

位置図



事業区域図



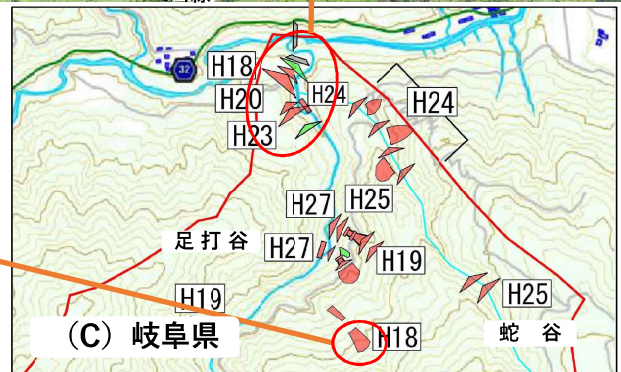
事業概要

実施場所: 揖斐郡揖斐川町瑞岩寺字足打谷地内
実施期間: 平成18年度 ~ 平成28年度
総事業費: 11億4千万円
事業内容: 治山ダム 15基 山腹工 0.81ha
事業目的: 不安定土砂の流出の抑止や崩壊地の復旧・拡大防止対策により森林の保全を図る

平成18~23年度施工溪間工 令和4年7月撮影



平成18年度施工山腹工 令和4年7月撮影



住民の参加・協働による効果

住民説明会の実施

- 被災状況から、治山事業の必要性や実施後の効果について説明。
- 意見・要望を聞き取り、住民の理解・協力を得て治山事業を実施。



事業の効果

崩壊地の復旧・植生の回復

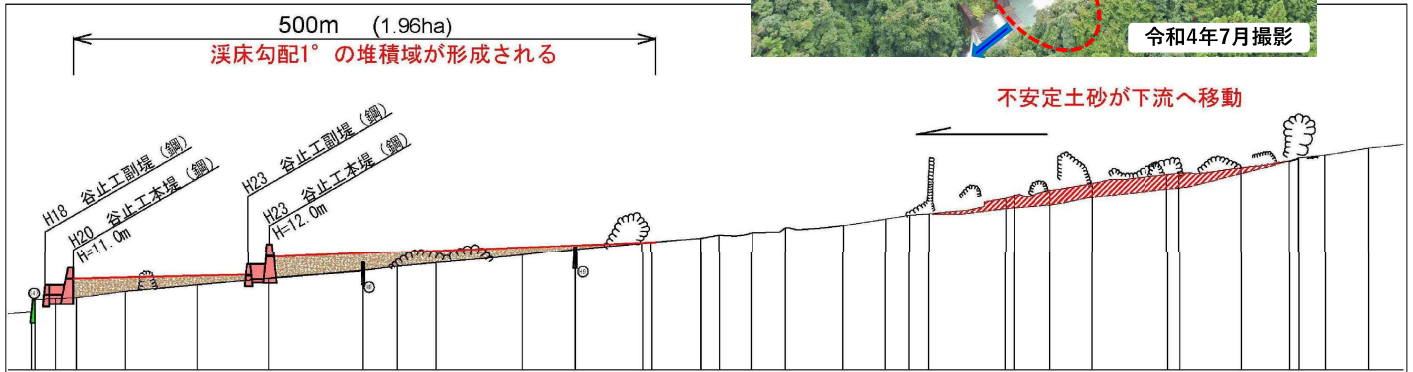
- 治山ダム工の実施により山脚が固定され周辺植生が回復。
- 山腹工の実施により植生が回復し拡大崩壊の防止。



事業の効果

土砂流出の抑止

- 堆積土砂量約8万m³の流出抑止
- 溪床勾配緩和による流出土砂の抑止
流出抑止区間(堆積域)
延長500m(1.96ha)を形成



費用対効果の分析

事業効果の算出

● 評価対象の便益

① 水源涵養便益

森林の持つ貯水機能の低下を防ぎ、洪水などの被害を防ぐ効果……

4%

② 災害防止便益

山腹崩壊、土石流、地すべり等の災害発生による被害を防ぐ効果……

96%

● 投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 } B}{\text{総費用 } C} = 3.3$$

〔 当初計画時
3.3 〕

※林野公共事業費用便益分析プログラム2022-06-3(Ver2.3)により算出

環境面への配慮

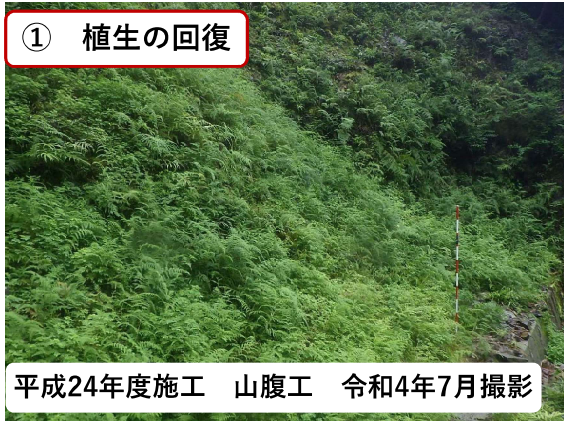
治山事業による環境への効果

① 治山事業実施による環境面への効果

植生回復により自然環境が修復

② 中詰材に土砂を利用したダム工を施工

現地発生土砂の有効利用により環境への負荷が低減

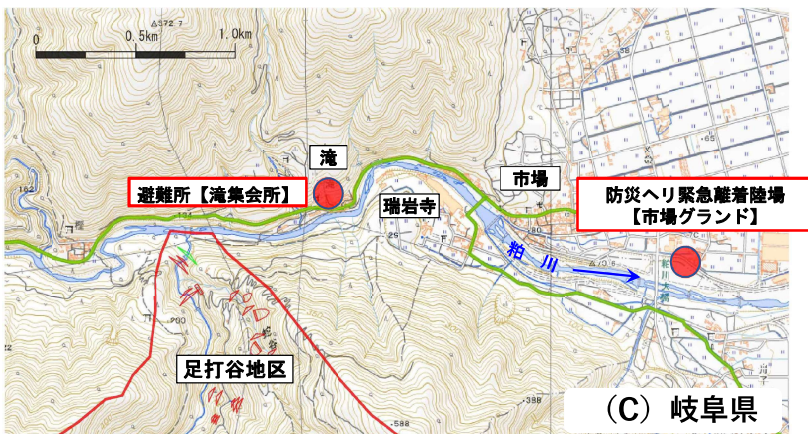


事業を巡る社会経済情勢等の変化

生命や財産を守る国づくりの推進

○揖斐川町地域防災計画に指定

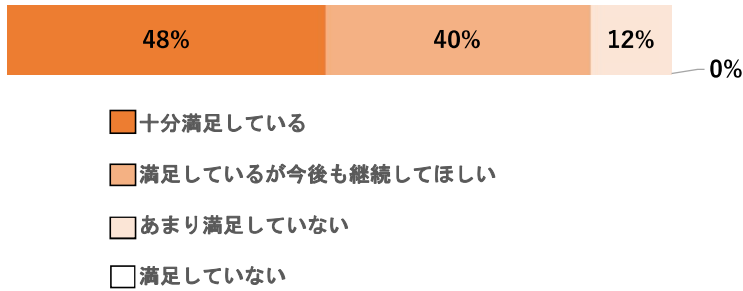
- ・ 滝集会所 → 避難所
- ・ 市場グラウンド → 防災ヘリコプター緊急離着陸場



地域住民等への効果

- ・ 回答者の約9割が治山事業の災害防止効果を実感
- ・ 効果に期待できない回答者は約1割であり、本事業への否定的な意見は少ない

治山事業（災害防止効果）の満足度



回答数65件（無回答は除く）

【近隣住民意見】

・ 治山事業により、地域の防災力が向上しますので、ありがたい取組みだと思います。

【近隣住民意見】

・ 災害が発生した場合、今後も治山事業の実施をお願いします。

アンケート結果 120戸配布 71戸回収 回収率 59%

【対象】 近隣住民(瑞岩寺・榎・春日地区)及び林業関係者・農業関係者・漁業関係者

【調査期間】 令和4年7月20日～令和4年8月22日

対応方針（案）

◆今後の事業評価の必要性

- 事業完了後から山地災害は発生していない。
- 費用対効果が3.3で効果が発現している。

➡ 今の段階では必要なし

◆改善措置の必要性

- アンケート調査により、回答者の約9割が満足している。

➡ 今の段階では必要なし

◆新規事業へ適用すべき留意点

- 地域住民に対して事業の目的や必要性を分かり易く伝え、事業の効果について理解を得るとともに、継続的なPRを行う。